



男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart

9月26日 ワーク・ライフ・バランス講座

講座予告

厚生労働省 政策評価委員
(東レ経営研究所研究部長)

Atsumi Naoki 渥美由喜 氏



スーパーお父さん
香大に参上!!

香川大学の男性はとても子育て上手。ワーク・ライフ・バランスの実践者です。そんながんばる男性教職員にエールを送る講座を開催します。経営の研究者で2児の父でもある渥美由喜さんをお招きして、仕事と家庭の調和、パートナーシップ、育児や介護への対策など、目からうろこのワーク・ライフ・バランス講座を開催します。男女不問、将来介護を抱える独身の方も必見です!

平成24年9月26日(水) 午後開催予定

研究者交流スペース<研究交流棟5階>

目次:

9/26 WLB講座.....	1
キャリアデザイン講座.....	2
科研費申請補助員派遣..	3
女性研究者SNS.....	3
児童サマースクール募集.....	4
研究補助者下期募集開始.....	4



男子も多数参加してくれました。

交流する下村さん



後輩に講演する柏野さん

キャリアデザイン講座ウィーク

男女共同参画推進室では、女子学生の進路選択の幅を広げ、自身のキャリアデザインに取り組む機会としてキャリアデザイン講座を開催しています。

多方面で活躍される身近な先輩からの多彩な経験談をお聞かせいただき、主体的に選択・自己実現を果たすキャリア形成のあり方を考えます。

幸町 第2回キャリアデザイン講座

幸町

「10代からの就活デビュー 未来をひらく3つのレッスン」



似顔絵も
そっくり

7月18日(水) 井原理代先生をお招きして、第2回幸町キャリアデザイン講座を開催しました。経済学部の学生に加え、教育学部、法学部の学生、教職員が40名参加しました。先生の香川大学学生時代は、経済学部で2名しか女子学生がおらず、大学に勤務するようになって、教授会は女性たった一人、そんな中で、ただひたすら必死にやってきた。人としての可能性を開くのは「疲れながらも、憑かれるように仕事をする」「自分自身の仕事に誇りを持つこと」。そしてそのモチベーションを保つためにも、これがやりたいという仕事をやることだと力強く話されました。

学生たちに向けて「夢をあきらめない秘訣」として、自分らしく生きるためにも、精神的自立・経済的自立・社会的自立、そして市民的自立を目指してほしいと伝えました。特に市民的な自立は、“自分たちの暮らす地域は自分たちの暮らしやすいように作るんだ”という意識が重要であり、自分たちで、納得できる意思決定ができることが求められる。女性たちが安心して歩き続けるためには、何よりそれを支える多様なケア、社会制度をきちんと整えていくことが重要であるとまとめられました。

農学部

「第3回キャリアデザイン講座」

7月19日(木)、今年で第3回目を迎えた農学部キャリアデザイン講座が開催されました。これは大学院を卒業後、研究職についている女性の先輩を招いての講演会です。今年は、三菱化学メディエンス株式会社 創薬支援事業本部治験センター勤務の下村幸子さんと、岡山大学 資源植物科学研究所で研究に取り組まれている柏野美帆さんを講師でお招きしました。

下村さんは「企業での研究とキャリア形成」について、学部生大学院生時代を経て研究が面白いと思う、人の健康や安全に貢献できる今の企業を選んだ。ずっと研究を続けられる人は少ない、自分の研究に自信と覚悟を持って臨んでほしい。転職も決まった道だけではなく、そのためにも昇進や異動もポジティブに受け止めてほしい。先が見えないと悩んでも時間が過ぎるだけ、とにかく動くことが悩みの解決につながるとエールを送りました。

柏野さんは、「研究職への道、その魅力」についてお話しされました。学部学生時代は遊びばかりだったが、3年でマメ科の植物研究と出会い、研究をもっとやってみたいと思った。学生時代にぜひ「自分で考えて進める力」を身に付けてほしい。やりたいことを見極めることも大切。目の前のことをコツコツと進めることで、その内やりたいことがはっきりしてくる。ご自身の将来の夢は、博士課程の取得。結婚してから仕事を続けるため、パートナーにも家事を分担してもらっていると、その両立ぶりも語られました。

工学部 第2回キャリアデザイン講座

工学部

「日本女子大学における

女性技術者育成とワーク・ライフ・バランス」

7月17日(火)工学部社会連携・知的財産センターにおいて、精密工学会知能メカトロニクス専門委員会特別講演会が、男女共同参画推進室後援で開催されました。講師は、日本女子大学理学部数物科学科 小川賀代先生。フジテレビ「ほこ×たて」にも出演中の若手女性研究者です。先生は、平成18年度採択の女性研究者支援事業のメンバーとして、女性研究者の育成に関わられました。今回、工学部キャリアデザイン講座も兼ねる本講演会で、女性技術者の育成とワーク・ライフ・バランスの重要性を語られました。

お話の中で、理系の進路選択をした女性に尋ねると8割がよかったと回答している。仕事を続けてもらうために、女性が理系の技術者を「ふつうにやっていける」というロールモデルを示すことが重要になってくる。キャリアデザインはいきなりはできない。女性がプライベートを見せていくことで、現場にあたり前という空気が作れる。豊かな次世代を迎えるための国の施策としてワーク・ライフ・バランスが求められている。女性は一度仕事を辞めたら、実際には近いキャリアでの復職は果たせていない。働きたくても働けないのが現状。「どんなに能力が追いつかないと思っても、周囲に迷惑をかけても、続けていたら報われる日が来る」と思って踏みとどまったらいい。自分を輝かせる人生を過ごすためにも、自主的主体的に動くことが大切である。一生かけて、WLBが取れた生活を送るためには、今何をすべきかを考えたい。女性の皆さん、一生懸命生きることはカッコ悪くない、自分を信じて色々なことにチャレンジしてほしいと熱いエールを送りました。

予告

科研費申請補助員派遣します

今年も科学研究費補助金の申請の季節が近づいてきました。平成24年度に限り、自然科学系女性研究者に科研費申請のお手伝いをする補助員を試行的に派遣します。「ちょっとこの図表を仕上げたい」、「入力を手伝ってほしい」などの小さなニーズにお応えします。お一人、配置期間内30時間までの謝金をご準備。学生や院生を活用し、科研費申請にお役立てください。詳しくは、申請受付時期にホームページでご確認ください。

配置期間:平成24年8月～10月申請準備期間

申請受付:平成24年8月1日～定員10名受付終了時まで

対象・上限:自然科学系女性研究者／配置期間内30時間まで



始めませんか？女性研究者SNS

男女共同参画推進室のホームページに、SNS「四国女性研究者フォーラム」があります。SNSは招待制で、メールをいただきましたら、招待状をお送りし登録になります。sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

なお、対象範囲は、四国内及び本学の女性研究者、学生、女性職員、研究補助者・香大っこサポーターとさせていただきます。

女性のコミュニティとして、皆さんと一緒に育てて行ってください。

2歳児の母として、育児と研究との両立と自己実現について、力強く語ってくださいました



元気の出るお話に、参加された一般企業の女性技術者の方々も笑顔があふれました。

*香川大学は、平成22年度文部科学省「女性研究者支援モデル育成事業」に採択されており、そのミッションステートメントとして、「科学研究費補助金へ自然科学系女性研究者が全員応募するとともに、採択率が全国平均と同等となるようにすること」をあげています。3年間の様々な取組を通して、女性研究者の方々の科学研究費補助金への応募や採択の状況に、大きな成果が表れています。

この趣旨に基づき本派遣事業を実施いたします。

色々あります！楽しいコミュニティ

☆育児まっただ中です！☆女性研究者向け外部資金情報☆病児移送サービス、ご存知ですか？☆キャリアのお悩み相談室☆わたし香大っこサポーターです☆推進室SNSサテライト室

香大っこサポーター活躍



<いずれも問い合わせ先>

男女共同参画推進室

内線：1055

メール：sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp



香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087(832)1055

内線：1055

FAX：087(832)1057

電子メール：

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

ホームページ：

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

児童サマースクール参加者募集 「夏休みのしゅくだいをやっつけよう！」開催

8/20(月)・21(火)・22(水)・23(木)・24(金)

＊時間 8：00～17：30 受付：7：45 お迎え18：00

＊場所 三木町医学部キャンパス内（看護学科ラウンジ及び体育館）

＊対象 香川大学教職員の子ども小学1～4年生（原則連日参加）

＊募集人員 15名（定員に達し次第締切。10名以下の場合は中止）

＊費用 1人1日あたり1,000円（保険料込）＋昼食・おやつ代実費

＊申込方法 参加申込書を医学部及び本学男女共同参画推進室ウェブサイトよりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、医学部総務課職員係へ参加費用と一緒に提出してください。

＊申込期間 **7/20(金)～7/26(木)17:00厳守**

＊その他 参加者には後日詳細をお知らせします。男女共同参画推進室、学生ボランティア、学生サークル等の協力を得て実施いたします。お子さんの状況によっては、急遽お迎えをお願いすることがありますので、悪しからずご了承ください。



研究補助者下期、募集開始！

男女共同参画推進室では、科学技術人材育成費「女性研究者支援モデル育成事業」（現女性研究者研究活動支援事業）を活用し、平成22年10月より、自然科学系女性研究者のさらなる研究の促進をめざし「研究補助者」の配置を始めました。そして、最終年の平成24年度は、**すべての分野の女性研究者及び配偶者が大学等で研究に従事している男性研究者にも対象を拡大**して研究補助者を配置しております。

配置期間：平成24年10月1日～平成25年2月28日

応募期間：平成24年7月25日(水)～8月10日(金)

今回、「女性研究者研究活動支援事業」での最後の募集となります。

育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができるような支援を継続していくために、研究補助者配置実績を現在まとめております。みなさま、ふるってご活用ください。

【研究補助者の活躍状況】

○研究補助者は、どんな人をお願いするのですか？



現在、学生が6名配置されています。（博士課程の方も含む）ハローワークを通じて、採用された方もいらっしゃいます。週に4日以上出勤すると交通費も支給されます（学生は除く）。2人の方で、1人の研究補助者を、曜日を変えてシェアしている先生もいます。実験の準備や参考文献の検索・入力等、研究補助をされている方にとっても豊かな貴重な経験になり、制度利用者の科研費獲得など、研究に大きな成果をあげています。